

1歳半頃からの

しつけ 関わり方

発達段階

- 要求が叶えられないとたちまちぐずる時期。集中力が続かず、行動も衝動的です。
- 大人の言うことはまだまだ簡単には聞けません。自分が何をしたいかわかっていても体は思うように動かず、また、言葉でもまだうまく伝えられないので、子どももイライラして、泣いて伝える時期です。



しつけ

- 望ましくないことをした時、教えたことを一度は話して聞かせますが、それでも聞けない時は一旦やめにして、他の好きなことなどで気を引きましょう。しつこくしても、泣かれたり、ひどいとパニック状態になったりと、本人も大人も疲れてしまいます。
- まだ、しつけに重きを置くよりも、子どもが機嫌よく過ごせるように、食事や睡眠など生活リズムをしっかり決めることが大切です。
- しかるよりも、その場から離すなど注意をそらせる方が効果的な時期です。

1歳頃～2歳頃

特徴

「〇〇したい」という気持ちが強くなる
気持ちを言葉で上手く伝えられず、イライラする
自立心が芽生える・自己主張や独占欲が強くなる



関わり方のポイント

- 要求をかなえられない時、「〇〇したいね、できなくて悔しいね」等、子どもの気持ちを受けとめ、伝える。
- 叱るよりも「こっちやってみる？」など注意をそらす。
- 「イヤ」に含まれた子どもの気持ちを探る。
- 何かをする時は必ず事前に声をかけて伝えておく。
- 「できた」達成感を得られるよう手助けをする。

★悩んだ時こそ誰かに相談を！～お話を聞き、一緒に考えます～
連絡先：東松島市役所 健康推進課 子ども健康係
82-1111(矢本保健相談センター内)